

平成28年度 学力向上推進プラン 1年

		学年の目標	学年末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の習得を確実にするために、小テストを週に3回程度行い、全員が95点以上取れることを目指します。そのために、できなかった場合は再テストを行います。 ・自分の考えを友達に伝えることができるよう、主語を入れることを意識させ、授業の中で1対1の対話を多く取り入れるようにする。 ・音読は、授業や毎日の宿題で繰り返し練習させ、つまづかないで読めるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の小テストは、2学期に、1回目のテストで7割程度の児童が合格することができました。合格していない児童は、再テストを行い合格できました。3学期も小テストを行うことで定着を図っています。 ・ペアやグループでの発表を取り入れているが、2学期は、まだ主語と述語を意識して伝えることができていない児童が多かったです。3学期は、朝の会で日直のスピーチを取り入れたり、短文をつくる学習や作文を通してできるようになった児童が増えました。 ・つまづかないで読める児童は9割以上います。3学期では、一人読みや分読を多く取り入れたことで、声の抑揚をつけながら読むことができるようになりました。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ・たし算、ひき算などの基本的な計算ができるようにするため、計算カードを用いて練習を重ね、たし算名人・ひき算名人を目指します。(2学期は間違えずに言えること、3学期は設定した時間内に言えること。) ・問題に対する自分の考えをノートに書けるようにするために、単元を通してノートの使い方を統一し、見直しをもって取り組めるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの児童が間違えずに計算の答えを言うことができ、計算名人になりました。3学期では時間を決めて、繰り返し練習を重ねています。 ・問題に対して自分の考えを書ける児童が増えました。ノートを上手に使っていることを紹介することで、ノートの書き方を学び、自分の考えを言葉や図でまとめられるようになってきました。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や友達の話を最後まで聞くことができるよう、話している人の方を向かせるように指導します。 ・体育では学び合いを深めるため、友達の動きをよく見るよう意識付けをさせます。見る場所にケンステップを置くなどして、必ず見ることができるような場づくりをします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話している人に対して体を向けて聞く児童が増えています。3学期では、最後まで集中して話を聞き、内容が理解できるように、朝のスピーチや発表の場を多く取り入れています。 ・友達のよい所を探し、何がよかったかを伝えられる児童が増えました。体育だけでなく図工など様々な教科で友達の作品や表現などを見る機会を増やし、学び合いを深めることができました。
判断力	<ul style="list-style-type: none"> ・その時間の学習のめあてを明確にします。課題を解決するための時間や場、材料などをしっかり確保し、どのようにするとできるかという見直しをもたせます。その後、友達同士の交流をし、友達のよかった所を見つけるなどして、ふり返りを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてに向けて自分で計画を立て、試行錯誤しながら取り組むようになりました。また、友達に考えたことや作品を伝え合うことで次の課題解決に繋がられる児童もいました。 	
学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイム着席ができるようにするため、全体で振り返る機会を設け、全員が守れたらシールを貼るなどして、意識付けをします。 ・宿題(漢字練習、計算練習、音読練習)を全員が忘れずに持ってくるよう指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイム着席を意識して行える児童が増え、友達にも声をかけることができるようになりました。3学期も引き続き行い、できていたことを大いに称賛することで、意欲づけにつながっています。 ・2学期、3学期もほぼ全員が忘れずに宿題を持って来ています。 	